



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 株式会社第一興商 上場取引所 東
コード番号 7458 URL <https://www.dkkaraoke.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 保志 忠郊
問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 西原 康尚（TEL）03（3280）2151
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	80,276	8.0	8,430	△6.3	8,606	△4.3	6,117	△36.3
2025年3月期中間期	74,321	4.3	8,996	△4.1	8,991	△7.9	9,598	46.0

（注）包括利益 2026年3月期中間期 6,116百万円（△37.6%） 2025年3月期中間期 9,810百万円（39.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	58.93	58.76
2025年3月期中間期	90.43	90.21

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	201,623	119,101	58.3
2025年3月期	209,316	117,862	55.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 117,619百万円 2025年3月期 116,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	28.00	—	29.00	57.00
2026年3月期	—	28.00			
2026年3月期（予想）			—	39.00	67.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2026年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当29円00銭 記念配当10円00銭（創業55周年記念配当）

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	162,700	6.3	18,000	0.3	18,800	2.2	15,400	△15.3	148.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	103,968,400株	2025年3月期	109,468,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	591,507株	2025年3月期	4,980,507株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	103,813,806株	2025年3月期中間期	106,149,857株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(中間連結損益計算書)	7
(中間連結包括利益計算書)	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日、以下「当中間期」という)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善に伴い、景気は緩やかな回復基調となりましたが、物価上昇による消費マインドの下振れや、アメリカの政策動向による経済への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当カラオケ業界におきましては、主力市場であるナイト市場・カラオケボックス市場を中心に、全体として緩やかに需要が改善するなかで、各商圈の中心地における事業者同士の競争は活発化しております。

このようななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当中間期の業績は、売上高は中間期における過去最高となる80,276百万円(前年同期比8.0%増)となりました。利益面におきましては、DAMの新フラッグシップモデル発売に関連して機器の入替え費用や、プロモーション費用などの販管費が増加した影響などにより、営業利益は8,430百万円(同6.3%減)、経常利益は8,606百万円(同4.3%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、前年同期にあった固定資産売却益が剥落したことなどにより、6,117百万円(同36.3%減)となりました。

	前中間期	当中間期	対前期増減	(百万円) 増減率
売 上 高	74,321	80,276	5,954	8.0%
営 業 利 益	8,996	8,430	△565	△6.3%
経 常 利 益	8,991	8,606	△385	△4.3%
親会社株主に帰属する中間純利益	9,598	6,117	△3,481	△36.3%

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、成長市場であるエルダー市場を中心として全体として緩やかに改善が進み、当中間期末のDAM稼働台数は前年同期比1%増となりました。

そのようななか、5年半ぶりとなるDAMの新たなフラッグシップモデル「LIVE DAM WAO! (ライブダムワオ)」を4月に発売いたしました。本機は“歌うほど、あたらしいワオ”をコンセプトに、新たな演奏方式による重厚な音源を実現したほか、多数の本人映像を新たに搭載いたしました。また、新機能「ボイスマジック」や4本同時使用が可能な「クワトロハーモニーマイク」の導入により“歌う”という体験をアップデートし、コアなカラオケファンから、カラオケ初心者の方まで楽しめる機能を多数搭載いたしました。当中間期においては、テレビCMやSNSなど多様なメディアを通じて本機の拡販につながるプロモーションを行うことで、カラオケ利用者のすそ野の拡大やDAM稼働台数の増加を図るとともに、旧機種から新機種への入替えを推進し、DAM1台あたりの収入増加に努めました。

エルダー市場においては、介護施設等への訪問営業やオンラインコンサートの実施などを通じて、エルダー市場専用機「FREE DAM LIFE (フリーダムライフ)」の拡販と、介護現場における職員の負荷軽減に繋がる機能を訴求することで、「歌うこと＝健康」という認知拡大に努めました。

以上の結果、新商品発売の影響により、卸売を中心とした商品販売売上が増加したことなどにより、売上高は前年同期比9.3%の増収となり、利益面におきましては、営業資産の買取りにより一時的な費用が発生したほか、賃貸機器の入替え費用及び販管費が増加した影響などにより、営業利益は前年同期比3.8%の減益となりました。

	前中間期	当中間期	対前期増減	(百万円) 増減率
売 上 高	30,790	33,644	2,853	9.3%
営 業 利 益	6,480	6,236	△243	△3.8%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、カラオケ6店舗、飲食9店舗の出店及びカラオケ4店舗、飲食6店舗の閉店を行ったことにより、当中間期末の店舗数はカラオケ505店舗、飲食162店舗となりました。

店舗の集客は、前期に実施したリニューアル効果、「LIVE DAM WAO!(ライブダムワオ)」の導入効果、夏場の猛暑によるインドアレジャー需要の増加などが影響して堅調に推移し、当中間期の既存店売上高はカラオケ店舗で前年同期比4%増、飲食店舗で同1%増となりました。

このようななか、ビッグエコー店舗においては“BIG SMILE, BIG ECHO. 歌おう、笑おう、みんなと一緒”をスローガンに掲げ、メーカー直営店としてカラオケ機器、音響設備のクオリティ向上に努めるほか、「ビッグスマイルキャンペーン」として多様なアーティストやアニメ作品とのコラボレーション企画等を積極的に展開し、カラオケを通して様々な喜びと楽しさの創出に努めました。

また、4月発売の「LIVE DAM WAO!(ライブダムワオ)」について、新たな機能をお客様にいち早く体感いただくため、早期に全店へ導入することで集客向上を図るとともに、“みんなで集まって、歌って楽しむ”というカラオケ本来の価値の訴求に努めました。

飲食店舗においては、前期に引き続き予約受注が好調に推移するなかで、お客様アンケートを通じて店舗環境、接客サービス、料理のクオリティ向上を図りました。また、ダーツ業態「REGALO」3店舗を出店するなど、幅広く集客の獲得を推進しました。

以上の結果、売上高は既存店における増収に加え、前期に出店した飲食店舗による増収などの影響により、前年同期比5.8%の増収となりました。利益面におきましては、カラオケ店舗における新機種導入コストが増加した影響などにより、営業利益は前年同期比5.0%の減益となりました。

(百万円)

	前中間期	当中間期	対前期増減	増減率
売 上 高	31,820	33,656	1,835	5.8%
営 業 利 益	2,560	2,432	△128	△5.0%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めるとともに、カラオケを中心とする自社メディアを活用した音楽出版事業にも注力することにより、堅実な収益モデルの構築に努めました。

以上の結果、売上高は前年同期比5.2%の減収となり、営業利益は前年同期比41.6%の減益となりました。

(百万円)

	前中間期	当中間期	対前期増減	増減率
売 上 高	2,772	2,628	△143	△5.2%
営 業 利 益	189	110	△78	△41.6%

(その他)

当事業におきましては、新たな収益の柱とするべく「ザ・パーク」ブランドで展開するパーキング事業の業容拡大が進展し、当中間期末時点で約4,200施設、48,000車室となりました。また、「スターデジオAir」等で展開するBGM事業や、家庭用カラオケサービス「カラオケ@DAM」についても堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高はパーキング事業収入が増加したことなどにより前年同期比15.8%の増収となり、営業利益は前年同期比25.1%の増益となりました。

(百万円)

	前中間期	当中間期	対前期増減	増減率
売 上 高	8,937	10,346	1,409	15.8%
営 業 利 益	1,148	1,436	288	25.1%

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7,693百万円減少し、201,623百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では現金及び預金が15,197百万円減少し、その他に含まれる前払費用が2,053百万円増加しております。

固定資産ではカラオケ賃貸機器が1,527百万円及びカラオケルーム及び飲食店舗設備が2,621百万円それぞれ増加しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ8,932百万円減少し、82,521百万円となりました。

これは主に、流動負債の短期借入金が8,906百万円減少したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ1,238百万円増加し、119,101百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益による利益剰余金の増加6,117百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少3,030百万円及び自己株式の取得による減少1,884百万円によるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ15,197百万円減少し、26,387百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前中間純利益が9,365百万円、減価償却実施額が7,932百万円及び法人税等の支払額が4,279百万円等により、前中間連結会計期間に比べ1,792百万円増加し、11,798百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が11,056百万円、有形固定資産の売却による収入が1,466百万円、無形固定資産の取得による支出が1,929百万円及び映像使用許諾権の取得による支出が2,160百万円等により、前中間連結会計期間に比べ12,394百万円増加し、13,617百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、長期借入金の返済による支出が10,368百万円、配当金の支払額が3,030百万円、自己株式の取得による支出が1,884百万円等により、前中間連結会計期間に比べ3,191百万円減少し、13,383百万円となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月7日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,949	26,752
受取手形及び売掛金	5,988	5,799
棚卸資産	13,769	14,451
その他	5,989	7,765
貸倒引当金	△153	△153
流動資産合計	67,543	54,614
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ貸貸機器(純額)	9,610	11,138
カラオケルーム及び飲食店舗設備(純額)	13,896	16,518
土地	34,940	34,725
建設仮勘定	32,316	32,856
その他(純額)	8,193	9,229
有形固定資産合計	98,958	104,467
無形固定資産		
のれん	5,094	4,825
その他	5,887	6,063
無形固定資産合計	10,982	10,889
投資その他の資産		
投資有価証券	7,044	7,058
敷金及び保証金	14,684	14,784
その他	10,219	9,914
貸倒引当金	△115	△106
投資その他の資産合計	31,833	31,651
固定資産合計	141,773	147,008
資産合計	209,316	201,623

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,885	3,929
短期借入金	12,443	3,536
未払法人税等	4,752	3,748
賞与引当金	1,272	1,861
その他	13,636	13,335
流動負債合計	35,990	26,411
固定負債		
長期借入金	41,128	41,581
役員退職慰労引当金	635	545
退職給付に係る負債	8,169	8,285
資産除去債務	1,873	1,918
その他	3,657	3,778
固定負債合計	55,463	56,109
負債合計	91,454	82,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,211	4,211
利益剰余金	108,490	100,019
自己株式	△10,571	△1,195
株主資本合計	114,481	115,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,867	1,863
土地再評価差額金	△558	△158
為替換算調整勘定	148	150
退職給付に係る調整累計額	394	377
その他の包括利益累計額合計	1,851	2,233
新株予約権	464	410
非支配株主持分	1,065	1,071
純資産合計	117,862	119,101
負債純資産合計	209,316	201,623

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	74,321	80,276
売上原価	47,971	52,591
売上総利益	26,349	27,685
販売費及び一般管理費	17,353	19,254
営業利益	8,996	8,430
営業外収益		
受取利息	13	25
受取配当金	100	131
受取保険金	166	55
受取協賛金	91	234
受取補償金	285	0
その他	358	358
営業外収益合計	1,015	806
営業外費用		
支払利息	214	206
為替差損	8	22
解約違約金	9	16
支払和解金	37	300
助成金返還損	653	-
その他	96	85
営業外費用合計	1,019	631
経常利益	8,991	8,606
特別利益		
固定資産売却益	4,414	972
投資有価証券売却益	1,118	0
特別利益合計	5,532	972
特別損失		
固定資産処分損	77	108
減損損失	249	104
特別損失合計	327	212
税金等調整前中間純利益	14,197	9,365
法人税、住民税及び事業税	4,666	3,341
法人税等調整額	△86	△109
法人税等合計	4,579	3,231
中間純利益	9,617	6,134
非支配株主に帰属する中間純利益	18	16
親会社株主に帰属する中間純利益	9,598	6,117

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	9,617	6,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	177	△3
為替換算調整勘定	26	2
退職給付に係る調整額	△11	△16
その他の包括利益合計	192	△17
中間包括利益	9,810	6,116
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	9,791	6,100
非支配株主に係る中間包括利益	18	16

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	14,197	9,365
減価償却費	6,841	7,932
のれん償却額	268	266
減損損失	249	104
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△104	△90
受取利息及び受取配当金	△114	△157
支払利息	214	206
為替差損益(△は益)	△15	△4
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,118	△0
固定資産処分損益(△は益)	△4,336	△864
助成金返還損	653	-
売上債権の増減額(△は増加)	128	202
棚卸資産の増減額(△は増加)	664	△681
カラオケ貸貸機器の売上原価振替	40	52
前渡金の増減額(△は増加)	△274	△99
仕入債務の増減額(△は減少)	△766	33
未払金の増減額(△は減少)	△1,634	△649
その他	175	516
小計	15,068	16,134
利息及び配当金の受取額	113	156
利息の支払額	△218	△212
助成金の返還額	△653	-
法人税等の支払額	△4,304	△4,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,006	11,798
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△10
定期預金の払戻による収入	33	10
有形固定資産の取得による支出	△7,261	△11,056
有形固定資産の売却による収入	8,608	1,466
無形固定資産の取得による支出	△1,861	△1,929
映像使用許諾権の取得による支出	△1,088	△2,160
投資有価証券の売却による収入	1,389	5
投資有価証券の取得による支出	△802	-
貸付けによる支出	△39	△431
貸付金の回収による収入	106	174
敷金及び保証金の差入による支出	△317	△371
敷金及び保証金の回収による収入	186	205
その他	△164	479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,222	△13,617

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	90	925
長期借入れによる収入	360	990
長期借入金の返済による支出	△10,808	△10,368
配当金の支払額	△3,099	△3,030
自己株式の取得による支出	△3,104	△1,884
その他	△12	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,575	△13,383
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,775	△15,197
現金及び現金同等物の期首残高	49,306	41,584
現金及び現金同等物の中間期末残高	41,530	26,387

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2025年8月7日開催の取締役会決議に基づき、2025年8月18日付で、自己株式5,500,000株の消却を実施しております。この結果、当中間連結会計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ11,119百万円減少し、当中間連結会計期間末において利益剰余金が100,019百万円、自己株式が1,195百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	30,790	31,820	2,772	65,383	8,937	74,321	—	74,321
セグメント利益 (営業利益)	6,480	2,560	189	9,230	1,148	10,378	△1,382	8,996

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,382百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	33,644	33,656	2,628	69,929	10,346	80,276	—	80,276
セグメント利益 (営業利益)	6,236	2,432	110	8,779	1,436	10,216	△1,785	8,430

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,785百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。